

日南町の豊かな自然のシンボル 福万来（山上地区）のヒメボタル保護活動の話



日南町の豊かな自然と森林のシンボルともなったのがヒメボタルです。ヒメボタルの保護活動と森林とのかかわりについて、山上地域振興センターの近藤様にお話を伺ってきました。

ヒメボタルについて

ヒメボタルは、体長が 7mm 位の竹林や杉林に生息する陸生のホタルです。メスは翅の退化により飛翔することが出来ません。陸生のベッコウマイマイなどを食べて成長します。成虫の寿命は 1 週間程度と言われていますが、生体についてはまだ不明の点も多いとされています。日南町 福万来は、鳥取県内でも有名なヒメボタル鑑賞スポットとして知られ、多くの鑑賞者を迎えるようになりました。

福万来ヒメボタル活動の意義について

福万来のヒメボタル保護活動にあたっては、下記の3つの目的が掲げられ、それに沿った活動がなされています。

- ・ 「ホタルは環境のバロメーター」を基本に、ホタルの住み良い環境を維持し、地域の環境を守り続ける。
- ・ 地域外の人にも情報発信を行い、町外の人を含め山上地域(ブランド)に誇りをもってもらう。
子供たちに地域の素晴らしさを伝える。
- ・ 鑑賞者に「自然環境の大切さ、素晴らしさ、偉大さ」などを訴え、感じてもらう。

保護活動の推移について

福万来では、地域でヒメボタルの保護活動に取り組んで来ました。平成 17 年にヒメボタルの保護を目的として山上まちづくりの会が発足しました。それまでは、「知る人ぞ知る」というくらいの認知度で、あまり注目はされていませんでした。むしろ自動車の通行の光害などの影響で減少傾向にすらありました。

平成 18 年より、通行する車のライトが森林に当たらないように遮光ネットを取り付けする活動を行いました。ホタルはパートナー探しの為に発光するので、強い光が生息地に当たることの影響が非常に大きかった為です。平成 22 年、これまでの活動を転換し、ホタルの生息環境を守る事と同時に、鑑賞に来るお客さんにも「自然環境の大切さ、素晴らしさ、偉大さ」などを感じてもらえるよう、エコツーリズムの考え方を取り入れた「おもてなし」を始めるようになりました。

福万来は、県内でも有数のヒメボタルの観察場所として知られるようになりました。ホタル鑑賞の際のボランティアとして地域の方が活動されています。現在は、ホタルの活動時間帯の車両の通行自粛を呼びかけ、交通